

# 《拓の会ニュース》

Vol.38

## ■拓の会例会予定（9月）

☆オブザーバー参加のお申し込みは事務局まで。（TEL: 0155-22-3611）

1G	■日 時:9月20日(水)19:00~21:00 ■会 場:同友会事務所またはZoom	■テーマ: 急成長!!5年で全国100店舗「トーシンのヒ・ミ・ツ」 ■話題提供者:(株)トーシン 取締役会長 宮本 建治 氏
2G	■日 時:9月27日(水)19:00~21:00 ■会 場:同友会事務所	■テーマ:楽しく働くためには何が必要か学ぼう! ■講 師:楽しいオフィス 代表 沖田 泰範 氏
3G	■日 時:調整中 ■会 場:調整中	■テーマ:調整中 ■話題提供者:調整中
4G	■日 時:9月5日(火)19:00~21:00 <b>終了</b> ■会 場:とかちプラザ306またはZOOM	■テーマ:キャッシュフローについて <a href="#">あすなる会《*New!》財務グループ と合同開催</a> ■講 師:(株)エントライズ・マネジメント 代表取締役 野村 幸司 氏
5G	■日 時:9月21日(木)19:00~21:00 ■会 場:同友会事務所またはZoom ※障がい者雇用セミナーへ参加	■テーマ:障がい者雇用のはじめの一步 共に働きやすい職場づくりとは ~当事者だからこそこの気づきとアイデア~ ■報告者:産業カウンセラー 三浦 潤一 氏 (株)カンナ・カンナ 代表取締役 三浦 直美 氏
6G	■日 時:9月21日(木)19:00~21:00 ■会 場:同友会事務所	■テーマ:平和園コラムの発表(「焼肉コラム」も可) ■話題提供者:参加者全員
7G	■日 時:9月11日(月)設営14:30 Live配信16:00 ■会 場:ムムロピーナッツ(株)	■テーマ:新しい挑戦!北海道でピーナッツ栽培を始めたのは何故か? おいしさの秘密に迫る【芽室ピーナッツ】 ■話題提供者:ムムロピーナッツ(株) 代表取締役 藤井 信二 氏
8G	■日 時:9月6日(水)18:30~20:30 ■会 場:同友会事務所またはZoom	■テーマ:自己の価値を知る、魅力発掘④ ■話題提供者:(株)内山企画会社 代表取締役社長 山崎 美華 氏
9G	■日 時:9月1日(金)19:00~21:00 <b>終了</b> ■会 場:市民文化ホール	■テーマ:コミュニティ~人とかかわり方~ ■話題提供者:参加者全員
10G	■日 時:調整中 ■会 場:調整中	■テーマ:調整中 ■話題提供者:調整中

## ■拓の会例会報告（8月）

### <第1グループ>『侃々諤々』

記 録 : 山崎氏

■日 時:8月25日(金) 19:00~21:00

■場 所:とかちプラザ和室301・302

■参加者:12名

■テーマ:10年限定での起業で4年が経過。いま思うこと

■話題提供者:(株)尾藤 代表取締役 尾藤 文康 氏

#### 【感想・報告】

(株)尾藤の尾藤社長にお話をお伺いしました。2019年に10年限定・自分一人で事業をすると決めて会社を設立した尾藤社長が6年後の事業完了が近づいた今、取引先に迷惑をかけずに事業を完了するにはどうしたらいいのか?をグループ全体で話しました。(株)尾藤さんは雑穀・飼料・肥料等を取引していますが、お話をお伺いする中で尾藤さんが取引先にただ売る・ただ買うだけではなく、お客様の為に販路を見出したり、お客様目線の心配りが出来たり、長年の経験による仕入れの相場観があったり、尾藤さんだからこそ出来る他の人が簡単に引き継げなさそうな状況にグループでも意見を出すのに苦戦しました。ですが、尾藤さんご自身も沢山の質問を受ける中で、今後の人生のヒントを得てくださっていたようにも見えましたし、私達も事業承継や事業存続について身近な問題として捉えて学ばせていただいた良い時間となりました。



### <第2グループ>

『多様な労働環境・働き方を知り、考え、学びあう』

記 録 : 井上氏

■日 時:8月10日(木) 19:00~21:00

■場 所:とかちプラザ403・ZOOM

■参加者:8名

■テーマ:誤解しやすい労働法規~勘違いして覚えていませんか~

■講 師:社会保険労務士法人土田陽子事務所

代表社員 土田 陽子 氏

#### 【感想・報告】

※労務課題セミナーへ参加

8月の例会は社労士である土田先生に労働法規について以下の内容を伺いました。

①試用期間について②有期雇用について(転換権等)③固定残業代について それぞれの内容について、今まで知らなかったことが多数ありました。その中で重要な前提として『就業規則』にしっかりと記載されているがポイントである、という認識を得ることができました。人を採用すること、育てること、場合によっては解雇をすること、それぞれには多大な労力がかかり、関わる方々は慎重に行動していくことが求められています。しかし、実際は正しい理解がないまま運用されることで組織・ヒトが疲弊を重ね、人手不足・売上改善等の悪い影響が出ていることが現実ではないでしょうか。今後もこういったセミナーは、経営者側視点・従業員視点それぞれで開催されることを希望します。



# 《拓の会ニュース》

Vol.38

## ■拓の会例会報告（8月）

### <第3グループ>『とかちの魅力を考える会』

記録：高島氏

■日時：8月30日（水）19：00～21：00

■場所：同友会事務所

■参加者：6名

■テーマ：今までの振り返りと下半期に向けて

■話題提供者：参加者全員

#### 【感想・報告】

今年度第3グループの活動は、オリエンテーション時の計画通り各月担当者を決め、コロナが第5類に引き下げられた事による飲食店の活気などに助けられ順調に進んでいるように思われる、というのが今回の例会参加者の評価でした。

BASSA osteriaではワインを卸すLEBLEU（株AOILO）の梶山さんから、十勝の外から見た地元の魅力について話していただき、新しい気付きや再確認したことが多々ありました。音更町の蔵（尙ハンブー）では、長く地元民に愛されるお店のあり方を聞くことができました。今年度新しい風が吹いたのは、芽室・四つ葉アパートさんの回で第7Gとの合同開催でした。適度な緊張感や他グループの活動を目の前にすることで背筋の伸びる回でした。G会員の中には参加するにつれ、酒米の田植えに参加してみるなど“まず行ってみる、やってみる”といった食材の向こう側を丁寧に感じ意識する変化があったという意見もありました。今後の例会や運営に関する意見としては、「十勝管外への遠征で、自分たちで十勝を外側から見て体感してはどうか」「インデアン、平和園など王道老舗店へ伺い改めて魅力の再発見をしてみてもどうか」「毎回コンセプトを決め例会場所にテーマを持たせてみてはどうか」など様々な意見が出されました。ただの食事会にならぬよう、第3Gの方向性、存在意義など毎回確認し、新たな視点、開催形式など意見を出し合いながら下半期～来期に向けて進めて行きましょう。ということで今回の中間MTは終了いたしました。



### <第4グループ>『会計・財務の超初級』

記録：秋山氏

■日時：8月9日（水）19：00～21：00

■場所：同友会事務所・ZOOM

■参加者：9名

■テーマ：財務諸表を使って自社を評価してみよう！

■講師：参加者全員

#### 【感想・報告】

決算書を読み解く実践編として、榊安藤建設 岡村様より実際に使われているExcelを講義資料とし、財務指数とその利用方法についてご説明頂きました。自社の決算書の数字を入力すると自己資本比率などの財務指標が自動で計算され、簡単に比較することができるように計算式の入ったExcelです。決算書をどう読み解けばいいのかわからなかったため、まずは指数という形で自社の内容を見てみようと思いました。財務指数の他に、資金繰り表の有用性についても紹介がありました。現金の流れを把握することで、今後の資金の過不足を予想する資金繰り表。売掛金の回収が間に合わず、支払の資金がショートするなんて事がないように、毎月のお金の流れを知ることがとても大事なのは、とのお話に色々な角度から経営内容を読み解くことが大切であると再認識した例会でした。



### <第5グループ>『持ち味を活かす職場づくりを考える』

記録：讃岐氏

■日時：8月24日（木）19：00～21：00

■場所：(株)ChipS・Zoom

■参加者：5名

■テーマ：自分の持ち味から見える事（各自のシェア）

■報告者：参加者全員

#### 【感想・報告】

自分の長所・短所を細かい例の達成率から見つめ直すことで、改めて自分の持ち味を考え今後の自分の強みを見つけて強化し、増やすことに繋がることができると感じました。

また、例題のとらえ方から人と違うところがあるので、できていると思っていたことが本当にできているのかなど、他の人の達成率を聞くだけでも一段階深い自己理解をすることができる内容でした。個々人の性格に加え、プライベート以外の会社での立場や年齢によって変化しそうなスコアだったので、また今後人生に変化があった際にもう一度スコアをつけて見比べてみたいと思いました。人と話し、人に話しながら自分を見つめ直すことを意識することが、まず自分の為になり、そして人を変えることにつながる可能性をつくれるんだと感じました。

まず自信を持つ、持てるようになることが大切です。



### <第6グループ>『とかちカルチャー発信』

記録：高原氏

■日時：8月17日（木）18：30～22：00

■場所：平和園東銀座店

■参加者：4名

■テーマ：平和園コラムの発表

■話題提供者：参加者全員

#### 【感想・報告】

今回は年間テーマとして「松久園・ニュースレターのためのコラム執筆」を掲げています。7月の「温泉コラム」に続いて、8月は「平和園コラム」。すでに執筆済みのメンバー、新社長の話聴いてから書こうというメンバー。それぞれ準備状況に違いはあっても、ユニークなカルチャー発信活動になりそうな気配です。平和園東銀座店では焼肉およびシンギスカンに関するそれぞれの思いや経験、さらには平和園秘話(?)のような話が飛び交いました。歴史的事実だけではなく、平和園の経営理念・哲学にも触れることができ、十勝の食文化の奥深さを知る例会ともなりました。何より、久しぶりにいただいたシンギスカンとミノの味わいに大満足。それぞれ、自分の好きな平和園の肉を堪能していました。9月例会では当日8月末発表の方々のコラムを発表します。

温泉コラム  
特別号

拓の会第6グループで取り組む「コラム」が出来上がりました！拓の会ニュースと一緒に配信します。ぜひご一読ください！



# 《拓の会ニュース》

Vol.38

## ■拓の会例会報告（8月）

### <第7グループ>『LiveCommerce（ライブコマース）』

記録：小野寺氏

■日時：8月4日（金）15：30～18：00

■場所：関口農場・Youtube Live

■参加者：4名

■テーマ：上土幌 関口農場

【オリベの豆や】の豆にかける思いとは？

■話題提供者：関口農場 関口 孝典 氏・嘉子 氏

#### 【感想・報告】

今月は拓の会メンバー上土幌町の関口農場さんにお邪魔させて頂き、関口ご夫妻にお話を伺いました。今回はライブコマースという事で主に奥様が運営されている「オリベの豆や」についてお話し頂きました。関口農場さんでは30種類以上もの豆を生産しており、オリベの豆やでは素材としての豆や加工した豆を販売されておりました。約1時間の撮影の中で豆の歴史から豆の特性、調理方法まで色々な情報を頂きました。とにかく奥様の豆にかける思いやこだわりが伝わってくる内容となりました。関口さん曰く「大地のパワーが宿る、力強さを感じさせるたぐいましい味」の豆をぜひ皆様にも味わっていただければと思います。撮影の前半に音声のトラブルや後半は配信が切れたりトラブルがありましたが、途中偶然に虹が現れ素晴らしい景観での配信になりました。

また次回の配信にご期待ください。

YouTubeチャンネルはこちら↓



### <第8グループ>

『気軽に話そう！あなたのマーケティング実践会』

記録：東山氏

■日時：8月10日（木）18：30～20：30

■場所：同友会事務所・ZOOM

■参加者：10名

■テーマ：自己の価値を知る、魅力発掘③

■話題提供者：関口農場 代表 関口 孝典 氏

#### 【感想・報告】

関口農場の関口さんが農家を継ぐまでの話をされ行っている農作業に加え、奥様が中心で事業展開を行っている『オリベの豆や』について説明を受けました。パッケージのデザインやHPでの説明、商品価格などを発表後、今感じている事や今後の事業展開に関して、適正価格や広げていくべきマーケットの方向性などを参加者みんなで意見を出し合いました。商品の需要度や消費者の立場からの意見、新たな商品ラインナップのアイデアなど、他業種だからこそ気が付く視点や運営の考え方など意見が出ました。さらに、設定する価格を上げる為の仕掛けや売り込み先、売り込み手段については、マーケティングの基礎をおさらい出来た事やマーケティング基礎に関口農場さんの状況を当てはめ、問題解決の為に状況を整理する事に前進できたように感じられる会であったと思います。

関口農場さんの話の後は、前回話題提供者としてお話をされたFP山崎さんの顧客からの声を聞き取りした結果を発表するとして、山崎さんに現在相談中である私（東山）より相談内容や相談している側からの率直な感想などを述べました。これまで顧客からの感想を聞いた事がなかったとして、今後の業務の取り組み方や価格設定の見直しの参考としてもらいました。



### <第9グループ>『よろず見聞学（楽）』

記録：近藤氏

■日時：8月4日（金）19：00～21：00

■場所：とかちプラザ306

■参加者：8名

■テーマ：人材・人事～人は城なり～

■話題提供者：参加者全員

#### 【感想・報告】

各社の人員確保の方法を話し合い、求人誌及びネット求人を使用していることがわかりました。求人媒体は十勝毎日新聞、シゴトガイド、マイナビ、リクルート等がメインで、ハローワークが最も効果を感じにくいという見解でした。その中でもマイナビが最も高額で、費用対効果を考えると厳しいという見解が多かったです。また紹介事業者を通じての採用等も検討したが、大都市圏では有効だが地方都市では対応していない等の業者が多いとの意見もありました。採用方法に関しては殆どが面接のみで、一度の面接のみでは本質がよくわからないというのが殆どの意見でした。求職者を事前にいろいろ調査するという意見も多かったです。

若手の人材を求めている企業が多いですが、最近の若者の動向として、ギラギラ感が無く、お金を稼ごうとか、他より上の立場になりたい等が感じられず、それよりプライベートの時間重視といった感じがするとの見解になりました。人員、人材に関してはどこの企業も不足で、既存の社員の高齢化が進んでいます。今後も9グループメンバーで人材確保の為の情報交換を行っていきたいと思いました。



### <第10グループ>『補助金・助成金を考える』

記録：岡村氏

■日時：8月28日（月）19：00～21：00

■場所：同友会事務所

■参加者：8名

■テーマ：事業内容から補助金・助成金に繋げる

■話題提供者：(株)トーシン 取締役 宮本 多美子 氏

(株)Fant 代表取締役 高野 沙月 氏

帝廣萩原自動車工業(株) 代表取締役 米道 隆雄 氏

#### 【感想・報告】

3社より事業内容と補助金をどのように活用したい、またはしているのかを伺いました。

●トーシン 宮本取締役：ガチャガチャの大規模な多方面への展開を行っており（4年強で100店舗新規出店）今後の開店資金を補助金でまかなえないか、というものでした。事業展開が早いので補助金申請中に出店着手となってしまうようですが、先行着手届、工事仕入れ業者の集約による見積の簡素化、期間内に予想される出店費用の集約、等により補助金申請の糸口が見えたようです。

●Fant 高野社長：ジビエ肉（鹿、熊からスズメまで）の流通サイトを立ち上げ猟師から加工、消費者へと繋げる取り組みを行っているとのこと。自らも狩猟免許を持ちそのニーズを十分理解してのニッチな業態へ参入し、スタートアップから補助金を活用し門出資金調達を賅ったというものでした。ただし、補助金採択ありきの起業ではないというその決断と行動力には丸腰では対峙できません。

●帝廣萩原自工 米道社長：建設機械農業機械のエンジン修理、油圧ホース加工販売を手掛けていらっしゃいます。東芽室工業団地の老舗企業で先代から承継したときにはもう建物、機械の老朽化が進みすべての設備更新が必要とのこと、そういえば以前、従業員のトイレをどうにかしたいと言われてました。この場では有効手段が見つからなかったものの的を絞って活用案を模索できればと思います。

活用機会があるにもかかわらず知らずに見逃しているもの、申請、アピールの手法がわからず審査員に響かない等、補助金知識と良いアドバイザーは事前に備えておければ良いですね。



ここは帯広市東2条にある中小企業家同友会とかち支部の一室。

「とかちカルチャー発信グループ」のメンバーが、十勝のカルチャーってなんだ?!を語り合いました。

ばんばだ! ?スイーツだ! ?いやいや、やっぱり温泉でしょう!  
と盛り上がり

メンバーそれぞれが、温泉コラムを書くことになりました。(突然)

メンバーの温泉愛にしばしお付き合いください。



「行ってみたい温泉があるの」

初めて訪れたのは友人の誘いだった。古めかしく存在感のあるホテルの1階にある日帰り温泉。浴槽は一つのスタイル。水風呂なし、ぬるい浴槽もなし。ここまできっぱりしている温泉も珍しく、いさぎよさすら感じる。身体を洗い、湯船に浸かる。

「あ、あつうーっ」何度も入りに来る常連になりつつあるが、この熱さには毎回慣れない。一般の高温風呂より、はるかに熱いと思う。何度あるのだろう? だけど上がった後はどこの温泉よりもスッキリするのだ!

「今日は長かったね、のぼせなかったかい?」湯上りに受付のおじさんと交わす会話もほのぼのとした楽しみの一つ。気がかりなのはホテルの人手が足りていなさそうで、おじさんが受付に座りながらたまに居眠りをしていることだ。(Y)

温泉ホテルボストン  
北海道帯広市西1条南3丁目9



8年ほど前まで芽室町には「ゆもーる川北」という温泉がありました。街から少し離れた立地ということもあり「ちょっとお出かけ」気分を味わいつつ、銭湯価格で手ごろに楽しめる温泉だったので、閉鎖は残念でした。話は変わりますが、今から15年ほど前に父が脳梗塞で倒れたときのことです。数か月の入院の後、退院時に父が言ったのが「温泉に行きたい。」後遺症が残る体で遠方には行けず、連れて行ったのが「ゆもーる川北」でした。足取りのおぼつかない父と、なぜか2歳の娘も一緒に三人で入った湯舟は落ち着かないことこの上ない、思い出深い温泉となりました。翌年父は他界し、娘の中の祖父の記憶は「温泉のおじいちゃん」で止まっております。(M)

あなたのおすすめの温泉話や温泉の楽しみ方を教えてください。一緒に温泉について語り、私たちと十勝の温泉をもっと楽しみましょう。



編集・発行

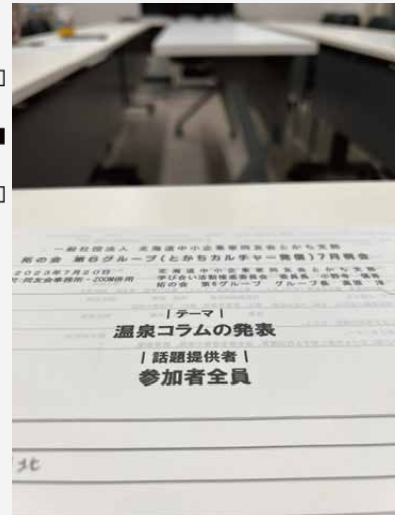
とかちカルチャー  
発信グループ

TCH20230720@gmail.com

とかちカルチャー発信グループとは?

同友会とかち支部の中で生まれた、とかちカルチャーを知り、深め、発信していくグループ。月に一度集まり十勝のことを語り合っています

# 温泉コラム 特別号



ホントは教えたくないひなびた温泉

1回目はオソウシ温泉鹿乃湯荘。

泉質は覚えてませんが(汗)その昔祖父がリウマチの長期湯治で泊まっていた宿です。小さい頃に行った時も、ものすごく長い距離を走った記憶がありますが今走ってもかなり遠いです。(汗)岩松ダムの手前側から行くルートと十勝ダムを超えてから行くルートがありますが、初心者(?)は最初のルートがオススメ。こちらは比較的走りやすいと思いますが、何せ距離があるので知らない人はこの道でよいのだろうかと不安になります。前回は鹿にも遭遇しました。後者のルートはかなりの酷道(?)です。車高の低い車は、止めたほうが良いでしょう(汗)道は、ほとんど整備されておらず踏み外したら崖下数十メートルへ真っ逆さま!一度興味本位で走りましたが、二度と通りません!浴室はそれほど広くなく、洗い場も3(4だったかな?)席。メインの浴槽と源泉の浴槽(水風呂に近い)があり、露天風呂もあります。

脱衣所、浴室ともに男女別。露天風呂は浴槽は別ですが、仕切りは竹垣(←うろ覚え)だった気がします(汗)たま〜に行きますが、駐車場は4台ほどのスペース。場所が場所なので駐車できなかったことはありません(汗)あまり有名になって混んでほしくない(失礼)温泉の一つです。追記 2023.7 現在臨時休業中でした。(S)



お気軽にご連絡ください

# 温泉コラム

## 特別号



帯広温泉ホテル

2013年に閉館している温泉です。  
帯広市西15条北1丁目の国道38号線沿いにあり、現在はドラッグストアとコンビニが建っております。

温泉としては相当な歴史があったようで、帯広での温泉浴場の先駆けだったとの事です。

私も数回しか行ったことがありませんでしたが、当時の記憶を思い起こし、改めて調べてみると、この温泉には同じ建物の中に元湯と公衆浴場の2つに別れており、元湯のほうが若干料金が高く設定されておりました。

当時まだ小学校の低学年だった息子を連れて初めて元湯にチャレンジした時の記憶が鮮明に残っており、すでにかなり老朽化した建物の迷路のような廊下を奥に進み辿り着いた元湯。全体的に超昭和レトロ感たっぷりな休憩スペースに置かれたもう動かないであろうジュークボックスが印象に残っております。料金設定が若干高いせいかお客さんは他に1人しかおらず、非常に静かとか少々寂し気な哀愁をかもしだしておりました。

しかし！お湯は最高！源泉かけ流し100%ちょっと熱めのモール温泉！

ここの温泉に浸かると後日自宅のお風呂に入っても数日間、体からヌルヌルが取れないほどでした。

しかし、老朽化した建物と設備の静か過ぎる温泉・・・、幼かった息子は怖がって2度とあの温泉には行きたくないと申しておりました・・・(O)

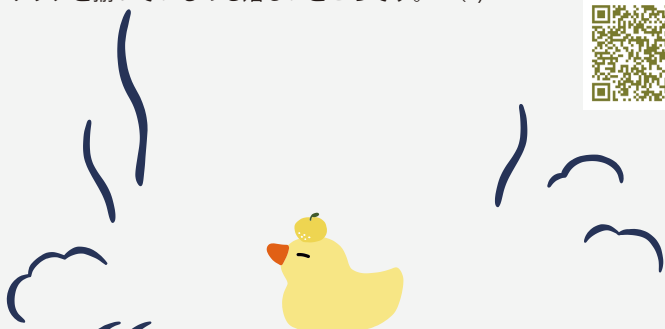


好きな温泉というやはり幕別町にある幕別温泉悠々館です。  
ここのお湯は源泉掛け流しもそうですが入ったあとの身体の回復感がとても素晴らしい。

サウナも4人ほど入れるかたちでちょうどいい大きさとなっています。  
屋上の露天風呂も浴槽は一つですがここも源泉掛け流しのお湯でしっかりツルツルとなり身体を整えてくれます。

お湯がいい！モール温泉という植物化石の温泉はヌルヌルしていますがそれが美肌効果があり体をしっかり温めてくれます。

私の中で温泉のよし悪しはお湯が基本なのでそれができてる幕別温泉悠々館はとて素晴らしい館となっています。温度は暑すぎとぬるま湯があり水風呂、サウナと揃っているのも嬉しいところです。(T)



半世紀前の十勝川温泉

子供の頃、温泉と言えば十勝川温泉だった。昭和40年代、僕の記憶ではどの温泉も薄暗かった。露天風呂はたぶんなかった。洗い場すらない。ただ大きな湯船があるだけ。そのまわりを家族が車座になって陣取り、桶で湯をすくって体を洗う。それが当たり前の光景だった。当時は混浴が普通。小さな婦人風呂を備えた「半混浴」というスタイルが多かったと思う。戦後、GHQの統治下となり、混浴は禁止の方向へと向かっていく。1960年代以降、混浴の温泉宿、銭湯は新規開業できなくなった。既得権を持っている温泉のみ混浴が残ったが、その後急速に減少していった。日本の温泉文化は高度成長期以降、大きく変化していったのだ。大浴場は明るくなり、洗い場が整備され、露天風呂を設けるところが増えた。明るく開放的な露天風呂に浸かっていると、50年前、薄暗くヌルヌルした床に座って体を洗っていた頃の記憶がよみがえってくる。(T)



ハア〜♪  
あ、よいよい

十勝川温泉の歌が飛び交いました



とかちわおんせん たん  
**十勝川温泉 - 譚 -**  
**100円**

十勝川温泉が生まれる百年前のお話です。  
観月苑、道の駅おとふけで販売中。

